

資料編



IV. 資料編

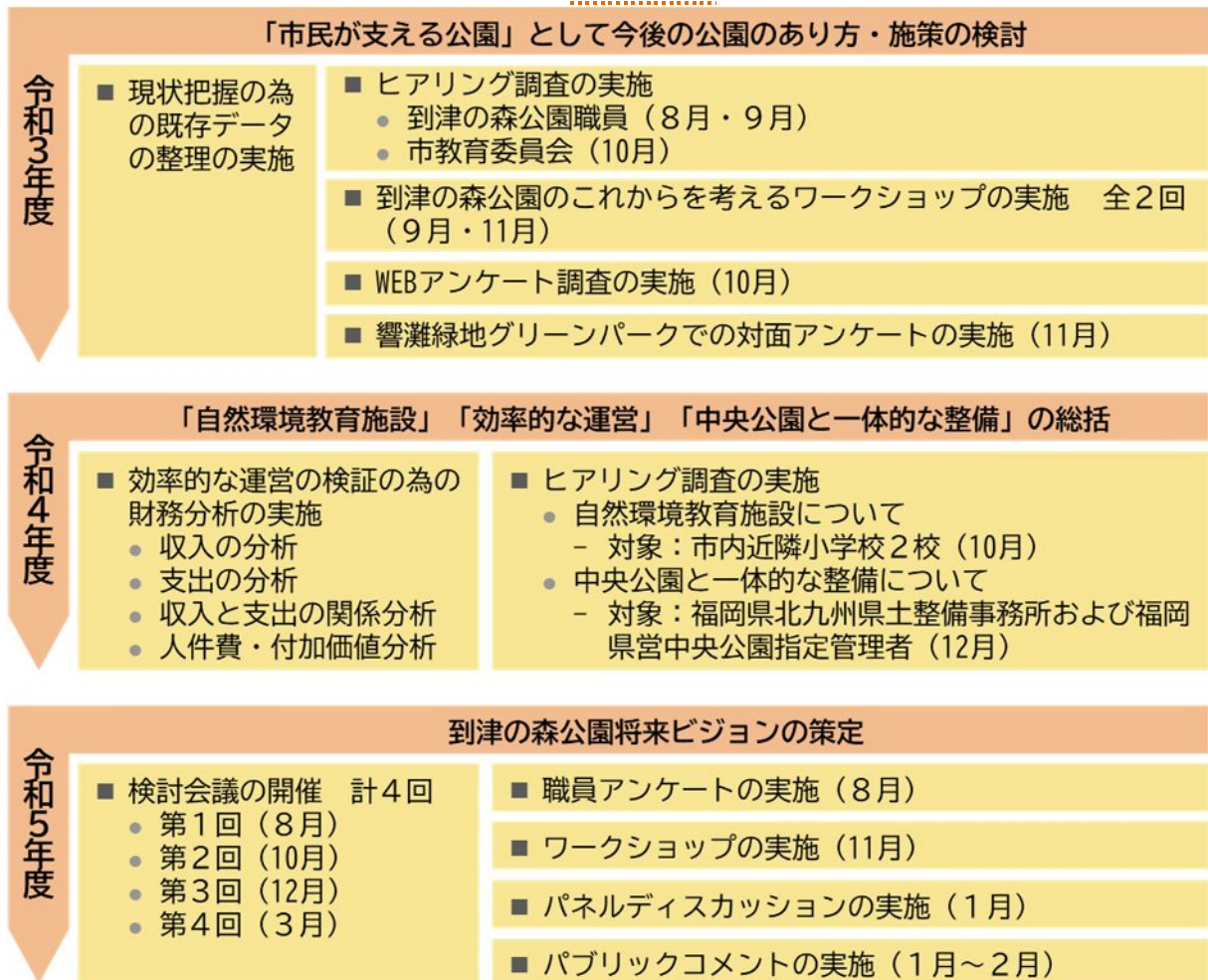
1. 策定過程

(1) 検討の流れ

本ビジョン策定にあたり、令和3年度、令和4年度にわたり様々な調査・検討を実施してきました。

令和3年度は、平成12年策定の「到津の森公園基本計画」の基本方針のうち「市民が支える公園」として運営されてきたことを踏まえ、今後の公園のあり方・施策の検討を、令和4年度には残りの3つの基本方針、「自然環境教育施設」、「効率的な運営」、「中央公園と一体的な整備」に関する総括を行いました。各年度とも、県及び到津の森公園の関係者への意見聴取に加え、到津の森公園の利用者及び教育機関へのヒアリング・アンケートや市民参画の機会を設けることで、幅広い市民の意見を取り入れながら検討を行いました。

検討の流れ



(2) 検討会議の開催

本ビジョン策定にあたり市民や有識者等から意見を聴取するため、「到津の森公園将来ビジョン検討会議」を設置しました。構成員は有識者や到津の森公園の運営に携わる市民ボランティアに加え、他動物園の関係者、地域の代表者、また、一般から公募した方から構成されています。

① 開催年月日

回	開催年月日	議題等
第1回	令和5年8月22日(火) 13:30~15:30	<ul style="list-style-type: none"> ・検討会議について ・座長選任 ・到津の森公園の現状 ・4つの基本方針に関する総括について
第2回	令和5年10月24日(火) 13:00~15:00	<ul style="list-style-type: none"> ・将来ビジョン検討の進め方 ・新たな「基本理念」「基本方針」案について
第3回	令和5年12月19日(火) 13:30~15:30	<ul style="list-style-type: none"> ・将来ビジョンの原案について ・パネルディスカッションについて
第4回	令和6年3月8日(金) 13:30~15:00	<ul style="list-style-type: none"> ・将来ビジョンの最終案について

② 構成員 (50音順、敬称略)

所属・役職	氏名
北九州市PTA協議会 副会長	岩谷 かおり
株式会社ビューリズム 代表取締役社長	西田 貴史 (公募委員)
広島市安佐動物公園 飼育・展示課長補佐	野田 亜矢子
北九州市立大学地域戦略研究所 教授	南 博 (座長)
到津校区自治連合会 会長	村上 嗣英
到津の森公園 市民ボランティア「森の仲間たち」 会長	山田 恵子



(3) 市民参加

① ワークショップ

以下の内容でワークショップを実施しました。参加者は友の会、SNSで呼びかけを行った到津の森公園に関心のある市民・大学生・青年会議所会員であり、公園職員も参加しました。

実施日	令和5年11月26日(日) 13:00~14:40
場所	到津の森公園会議室
テーマ	テーブルごとに以下の3つのテーマについて意見出しを実施した。 ①「将来の到津の森公園」 …20-30年後、到津の森公園はどんな動物園になっている？ ②「情報発信」 …子ども、若者、大人、お年寄り、それぞれにどんな情報発信をすればよい？ ③「到津の森公園にしかない価値」 …到津のここにしかない、ってどんなもの？その強みを活かすには？



② 職員向けアンケート

令和5年8月、今後の動物園のあり方や方向性、基本理念・方針等について到津の森公園スタッフに自由記述方式のアンケートを実施し、21名が回答しています。

スタッフの回答（抜粋）

- ・ 1年を通して、四季の草花と動物を身近に感じられる公園。
- ・ 教育施設でもある一方で、娯楽施設の顔も併せ持つ。博物館にはない、いまその瞬間に出会える「いのち」に対し、人は心を動かされ、自然の中の「人間の私」を感じることでできるかけがえのない場所。
- ・ 来園者が求めるものは、動物を見る、鳴き声を聞く、触れ合うことで、動物に関する知識を得ることや、植栽も含めて動物園という非現実的な空間を楽しむことではないか。「動物に関する専門性の向上」や「快適な空間づくり」を目指してはどうか。
- ・ 「市民が支えたいと思える公園」とする。
- ・ 集客重視の娯楽施設ではなく、博物館等の教育施設として位置づけ。

③ パブリックコメント

「到津の森公園将来ビジョン（素案）」について、令和6年1月17日から2月16日までパブリックコメントを実施しました。いただいたご意見の件数は57件です。

パブリックコメントに寄せられた意見

	項目	件数
1	ビジョン全般	2件
2	基本方針1 みんなに愛され、これからを一緒につくっていく 「市民とともに歩む公園」	4件
3	基本方針2 自然や命の大切さへの理解を深め、楽しく学ぶ 「自然・環境の学び舎」	1件
4	基本方針3 その人その人にあった楽しみ方・過ごし方を生む 「多彩な楽しみに出会える空間」	21件
5	基本方針4 動物がありのまま幸せに暮らすとともに、 誰もが安心して過ごすことができる「動物も人も幸せな森」	8件
6	基本方針5 高品質なサービスを提供し続ける 「いつでも未来を見据えた運営」	7件
7	取組姿勢1 自然や立地など到津の森公園の強みをいかし、 ここにしかない価値を磨き上げる	3件
8	取組姿勢2 多様な情報発信と 積極的なコミュニケーションの充実を図る	11件

④ 到津の森公園 将来ビジョンパネルディスカッション

令和6年1月20日に、北九州市在住タレントのえもとりえさんをはじめ、6名のパネリストによる「到津の森公園」の将来を考えるディスカッションを行いました。「到津の森公園将来ビジョン（素案）」への理解を深めていただくとともに、相互の話し合いの中で、多くの市民の皆様からご意見をいただく場となりました。

日時	令和6年1月20日（土）13：00～14：30
場所	到津の森公園 管理センター3階会議室
参加者数	60名
プログラム	1. 到津の森公園将来ビジョンの説明 2. パネルディスカッション ①将来ビジョンのここに注目 ②到津の森に将来こうなってほしい ③大喜利でアイデア出し 3. 参加者からの意見・質問

パネリスト一覧（敬称略）

所属・役職	氏名
市民ボランティア「森の仲間たち」会長	山田 恵子
将来ビジョン検討会議 公募構成員	西田 貴史
到津の森公園 園長	梅崎 淳一
北九州市建設局公園管理課	平井 仁美
タレント	えもと りえ
北九州市立 大谷中学校	原田 芙花

パネルディスカッション当日の様子

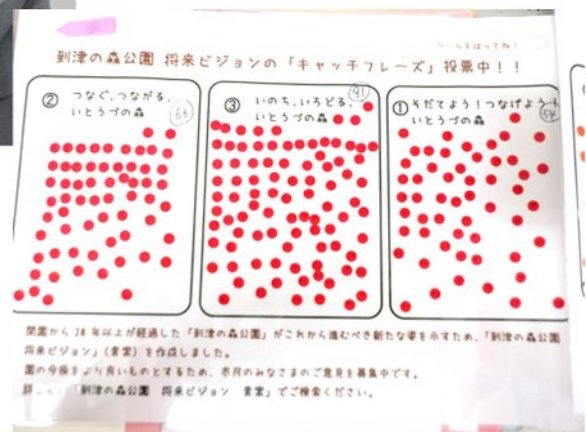


⑤ キャッチフレーズ投票

基本理念「かけがえのない自然やいのちを世代を超えて未来へつなぐ公園を目指す」について、より短く市民の皆様に理解していただける「キャッチフレーズ」を決めるため、3案に絞って投票を行いました。

実施日	令和6年1月20日（土）～2月16日（金）
投票場所	到津の森公園 パネルディスカッション会場、北・南ゲート
キャッチフレーズ3候補とポイント	<p>①つなぐ、つながる、いとうづの森 未来へつなぐ、を端的に表現。市民がつなげ、市民を繋ぐ公園である点を強調。</p> <p>②いのち、いろどる、いとうづの森 「い」音で韻を踏んでいる。「いのち」、には動物や人だけでなく植物も含む。</p> <p>③そだてよう！つなげよう！いとうづの森 市民が参加して育てていく公園であることを強調。「！」で力強いイメージを追加。</p>

投票の結果、①つなぐ、つながる、いとうづの森が147票、②いのち、いろどる、いとうづの森が230票、③そだてよう！つなげよう！いとうづの森が148票となり、②のいのち、いろどる、いとうづの森が選ばれました。



2. 令和5（2023）年の園の様子



出所) 到津の森公園園内パンフレット



北九州市建設局公園緑地部公園管理課
令和6(2024)年3月